

「戦後日本の一番長い日」のその後を考える。

先月は、民主党新政権の政策について、私が今思っていることを随筆風に書かせていただきました。今月もその続きです。

「政権交代」が実現し、早 2 ヶ月が経過しました。臨時国会も召集され、鳩山首相は、所信表明演説で『無血の平成維新』を目指すとおっしゃいました。これは、言うまでもなく、明治維新に匹敵する大改革を行うのだとの意思表示であり、志の高いことを感じさせてくれます。「無血の」という言葉は、幕末から大政奉還後にかけての混乱に伴い、多くの血が流れたことを言っているのだと思います。西南戦争で西郷隆盛が自刃し、武士の反乱がようやく治まったのが明治 10 年、大日本帝国憲法発布が明治 22 年です。その後、日清・日露戦争を経て、近代日本が完成したといえるのは、明治 38 年です。明治維新という大改革は、それほど時間を要したのです。「平成維新」に 40 年かけられても困りますが、我々国民もあまり早急な結果を求めのではなく、少し長い目で見るべきなのかもしれません。

先月、私は、『今後の日本をどのような形にしていくなか、長期的な成長戦略はどのようなものかなど、マクロ的な展望が欠けているような気がします。』と書きました。ちなみに、自民党の小泉政権時代は、明確なビジョンがあったと思います。それは、アメリカの共和党政権のビジョンとも一致する、「小さな政府」と「市場原理至上主義」です。しかし、この行き過ぎた「市場原理至上主義」が「格差社会」を生み、サブプライムローンの破綻とその後の世界恐慌をもたらしたと言えないかと思えます。

民主党政権からは、依然として明確なビジョンは表明されていません。当初私は、マニフェストから想像するに、スウェーデン、ノルウェーなどの北欧国家が行っている、高福祉・高負担の社会主義的な国家を目指しているのかなと思っていたのですが、必ずしもそういうことではなさそうです。この点については、今後、早期に国家戦略室が明らかにしてくれるものと期待しています。

個別の政策については、前原国土交通大臣をはじめ、各閣僚はマニフェスト実現に向け、活発な活動をされていますが、結論を急ぎすぎているような気がしないでもありません。国土交通省関係だけを見ても、八ツ場ダムに代表されるダム建設の中止問題、日本航空の再建問題、羽田のハブ空港化問題、高速道路無料化問題等々があります。いずれも自民党政権時

代に先延ばしにされ続けてきた問題であり、一朝一夕に解決できる問題ではないと思います。あまり、結論を急ぎすぎることなく、ひとつひとつ十分に議論をしていただきたいと思います。

一方で、早期に対応していただきたいと思うのが景気対策です。サブプライムローンの破綻に基づく、今回の世界恐慌は、「100 年に一度」と言われる非常に深刻な事態です。現時点では景気は底を打ち、持ち直しつつあるとの見方がありますが、これは自民党政権が実施した、エコカー減税やエコポイント制度によるものであり、これらは期限付きの措置であるため、将来の需要を先食いしたに過ぎないと思うのです。このような状況で、今回の臨時国会で審議されるのは、いわゆるモラトリアム法案のみであると言われていています。モラトリアム法案は、中小企業の借入金について一時的に返済の猶予を行うものです。言ってみれば傷ついた体からの出血を一時的に抑えるものであり、一定の効果は期待できますが、新たな血液を生み出すものではありません。必要なのは、一步進んで「緊急輸血」と自ら血液を造ることのできる体力を養うことではないかと思えます。自民党が行った補正予算は、まさに「緊急輸血」として行われた政策でした。その補正予算を民主党政権が 3 兆円近くも削ってしまったのです。確かに、緊急輸血で「マンガの殿堂」など無駄なハコモノを作ることに意義があるとは思えませんが、予算を削っただけで、積極的に新たな対策を講じようとしない民主党政権にも危機感を感じます。

公共事業についても同じです。公共事業が肥大化しており、将来的に削減する必要があるのは事実だと思えます。ダムや道路、新幹線、地方空港などの公共事業のうち、無駄なものを削減することには賛成しますが、マニフェストには、どういものが無駄でどういものが必要なかの記載がありません。公共事業は社会資本整備の一環ですから、必ずしも採算がとれなければならないというものではありません。これからの公共事業は、温室効果ガスの削減効果など環境保全も含めてその必要性を検討すべきだと思います。そういう意味で、量的・質的両面から見た、実施すべきかどうかの判断基準を明確に定め、これを国民に開示したうえで、必要と認められる公共事業は積極的かつ早期に実施していくことが、現在の景況下では求められているのではないのでしょうか。

(取締役 公認会計士・税理士 矢島和彦)